

岐阜大学国際交流

NEWS Letter 53

For International Exchange
Gifu University

October 2022



ジョイント・ディグリープログラム学生受け入れ開始

6月14日

岐阜大学・インド工科大学グワハティ校(IITG)国際連携食品科学技術専攻(修士課程)のIITGを主大学とする学生5名が、本学での留学を開始しました。

岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(修士課程)は、本学において2019年度にIITG及びマレーシア国民大学(UKM)と共同で開設した4つの国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム:JDP)のひとつです。

新型コロナウイルス感染症対策の下、本専攻では初めてのインドから渡日した留学生です。本学で講義履修と研究活動、インターンシップ等を行い、国際共同学位の取得を目指します。



オーレリウス・ジーカス駐日リトアニア共和国大使が本学を訪問

8月3日

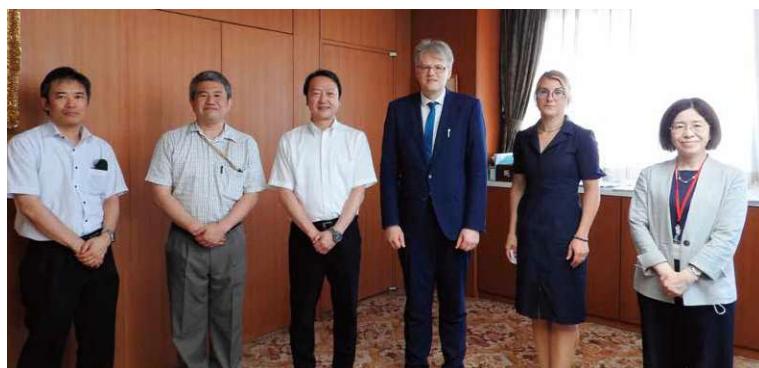


オーレリウス・ジーカス駐日リトアニア共和国大使及びクリスティナ・ミネイキエネ農業参事官が本学を訪問しました。

ジーカス大使一行は、神原信志副学長(国際・情報・評価(副)担当)及び毛利哲也工学部教授と、リトアニアと本学との交流について意見交換を行いました。

意見交換においては、2019年のギターナス・ナウセーダ リトアニア共和国大統領の来学にも触れつつ、リトアニアの大学と本学との間で締結した学術交流協定や、学生・研究者交流の状況、また農業分野等におけるリトアニアと本学との協力など、様々な内容について活発に話し合われました。

本学は、リトアニアのカウナス工科大学と2010年4月に、さらにヴィータウタス・マグヌス大学と2012年1月に大学間学術交流協定を締結し、学生・研究者交流を行っており、今後も活発な学生交流及び研究者交流が展開されることが期待されます。





海外への留学

2022年夏期ESL・EST説明会

4月25日・28日・5月9日

4月25日、28日、5月9日の3日間、「2022年度サマースクール（ESL/EST*）説明会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症のため、昨年度はオンラインによるサマースクールを実施しましたが、今年度は、2019年度以来の現地に渡航して参加できるプログラムが実施されます。説明会では、過去に参加した先輩学生が登壇し、臨場感のある留学経験を伝え、後輩学生たちは真剣に聞き入っていました。3回の説明会では、計150名を超える学生が参加し、海外留学への関心の高さが伺えました。

*ESL: English as a Second Language/EST: English for Science and Technology



海外渡航時の危機管理オリエンテーション

6月29日

留学や出張で海外渡航する学生・教職員に向けた危機管理オリエンテーションを3年ぶりに開催しました。海外渡航時の健康管理や事前準備、現地で危険な目に遭わないためにどうすべきか、また危機ケースとその対応等について、4名の講師から説明がありました。本学では、夏季休業期間中に多くの学生が海外渡航をします。当日は、計80名を超える学生や教職員が参加し、真剣に耳を傾けました。



外国人学生との交流会

6月22日・24日

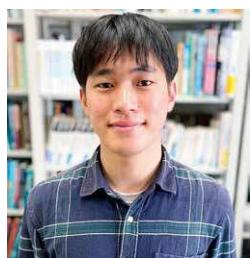
6月22日、24日の2日間、初めての試みとして「外国人学生との交流会」を開催しました。

本学日本人学生13名と留学生11名（中国、インド、インドネシア、ベトナム、ガーナ、ケニア、フランス）を含む延べ25名が参加しました。交流会では、日本語・日本文化教育センターの和室に岐阜市の大判地図を広げ、おすすめの観光地やレストラン、ショッピングモール、公共施設などの情報を書き込みながら、自分たちの岐阜市マップを作り上げました。

これまで新型コロナウイルス感染拡大に伴いオンラインでの交流企画が続く中、今回は感染対策に留意しながら対面での交流会を開催することができました。来日間もない留学生の参加者からは、「とても楽しかった」「岐阜市のことよく知ることができてよかったです」「日本人学生だけでなく他学部の留学生との出会いがあってよかったです」といった感想がありました。また、日本人学生からも「英語でコミュニケーションをする貴重な機会となった」「ハラルといった日本とは異なる文化について知ることができて良かった」といった声があり、両者にとって有意義な時間になったことが伺えます。



海外で学ぶ



名古屋大学理学部(※)
堀江 正陽



アルバータ大学
カナダ



グリフィス大学
オーストラリア

オンライン留学が私にもたらしたもの

私は将来海外の研究者等と協同して研究することを夢見
ており、そのためには学術面での英語力を身に付けたいと思
います。

オンライン留学に応募しました。私が受けたのはアルバータ大学とグリフィス大学のプログラムで、それぞれ学部3年生の夏休みと春休みに受講しました。どちらの研修にもアカデミックな英語を使う機会が沢山あり、自分の未熟な英語力を痛感するとともに、日々英語に浸るにつれ授業での成功体験が増えていき英語技能が少しづつ成長するのを実感できました。今振り返れば、オンライン留学は海外の大学の英語レベルを知るだけでなく、国内にいる間の英語学習の方法を工夫することにも大いにつながったのではないかと思います。



*2021年度から東海国立大学機構内における名古屋大学との連携により、一部研修プログラムについては両大学からの参加が可能となっています。



ジョイント・ディグリープログラム学生と本学学長との懇談会

7月7日

岐阜大学は、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、2019年度に海外協定大学のインド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻（ジョイント・ディグリープログラム：JDP）を開設しました。

2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響から留学生の受け入れや派遣が困難でしたが、今年度より本格的に受け入れと派遣が再開しました。2022年7月時点で、連携大学から9名の修士、博士課程の学生が来日し、本学での研究生活を開始しています。また4専攻のうち、自然科学技術研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻（修士課程）の日本側学生は、7月中旬からのIITG渡航に向けて準備を進めてきました。こうした受け入れと派遣の再開を受け、7月7日に吉田和弘学長と、連携大学から受け入れている9名及び7月中旬からIITGへ渡航する1名の学生との懇談会を開催しました。

懇談会では、学生がジョイント・ディグリープログラムに入学したきっかけや、それぞれの研究テーマ、留学の感想のほか、日本、インド、マレーシアの文化の違いなど様々な分野について活発な意見交換が行われました。



郡上市立相生小学校児童と 留学生の交流会

7月1日

昨年度オンラインで行った郡上市立相生小学校児童との交流会を、今年度は4名の留学生が相生小学校に訪問して対面で実施しました。小学生は郡上市および相生小学校についてグループ発表をし、留学生は自分の国的小学校・小学生などについてスピーチをしました。質疑応答も、時間が足りなくなるほど賑やかで楽しく充実した交流機会となりました。



日研修了論文発表会

8月7日

タイ、中国、ベトナムから本学に留学している3名の日本語・日本文化研修留学生（日研生）による修了論文発表会を対面・オンライン併用で開催しました。コロナ禍により渡日が大幅に遅れ留学期間が大幅に短縮されてしまうという困難にもかかわらず、それぞれが充実した論文を完成させました。発表会には国内外からの参加があり、活発かつ温かい会となりました。



岐阜大学で学ぶ



自然科学技術研究科
ファム ダン クオン



この大学で私が得たもの

私が来日してからおよそ2年経ちました。岐阜大学では、自分の学びたい勉強や行いたい実験をすることができ、多くの知識と経験を得ることができました。もちろん、勉強以外にも貴重な経験を得ることができました。例えば、母国では見ることのできない雪を見たり、スキーをしたりしました。また、感性豊かな人たちと出会えて、退屈しない素晴らしい毎日を過ごすことができました。卒業式の日、就職する同級生は会えなくなるせいか、私を抱きしめて泣きました。その瞬間、この大学で得たものは知識だけではなく、素敵な友情を得ていたことに気づきました。岐阜大学での生活は私にとって忘れられない体験です。





キャリア日本語演習—日本で働きたい留学生のために

5月～8月

日本語・日本文化教育センターは、2020年度より、日本での就職を希望する留学生を対象に「キャリア日本語演習」を開講しています。今学期は計9名の留学生が受講し、自己分析や企業研究等の実際の就職活動で行う活動を通じて、自身のキャリアについて理解を深めながら、日本での就職に必要となる日本語や、日本企業に関する知識等を学びました。受講生の多くは当初、日本での就職活動についてイメージができないと話していましたが、演習が進むにつれて具体的なビジョンを持ち、自身の経験を踏まえて話すことができるようになりました。



留学生のみなさん キャリア日本語を勉強しませんか？	
日本語・日本文化教育センターでは、日本で働きたい留学生の方を、「キャリア日本語」の授業を開講しています。	
期間：2021年9月～2022年8月予定	
対象：留学生、教員小委員、准堤田、木曜日の、いづれかの午後です。	
料金：無料で、各自で申込ください。	
対象者：ボランティアまたはハイブリッド	
対象：中高レベル（JLPT N1）以上で、日本で働きたい留学生	
内容：キャリアプランニング、企業分析、エントリーシート、履歴書の書き方、グループディスカッション、面接練習など	
定員：20人まで	
申込締切：5月8日（日）締め切りました	
申込方法：下記の問合せ窓口にメールを送ってください。 glocal@gifu-u.ac.jp	
1. 姓氏	性別
2. 手机番号（カタカナ）	学年
3. 部門名	准堤田の名前
4. 〒	木曜日の名前
5. 職務番号	准堤田の学年



動画配信等サイト Glocal Lesson提供

4月11日

Glocal Lessonは、グローカル人材として活躍が期待される本学学生の国際力の涵養及び国際展開を考える地域企業・企業人等への支援を目的とし、異文化教育に関連するあらゆるコンテンツを、主にオンデマンド形式によるオンライン講義により提供するものです。

下記より会員登録が可能です。



SNSで情報発信

本学の国際交流に関する講演会やセミナー、交流会、留学、奨学金等に関する新着情報を、YouTube、Facebook、Instagramで発信しています。



海外学生向け岐阜大学広報動画



岐阜大学海外同窓会

現在、中国とインドネシアにおいて、卒業後に帰国した留学生による海外同窓会の活動が行われています。

8月1日、岐阜大学インドネシア同窓会事務局長のアスワンディ氏（地域科学研究科修了生）および同窓生で岐阜市在住のファウズィアム・マリ氏（工学研究科修了生）がグローカル推進機構を訪問し、神原信志副学長（国際・情報・評価（副）担当）、植松美彦グローカル推進機構長および関係教職員と打合せを行いました。

アスワンディ事務局長からは、現在100名以上が会員となっているインドネシア同窓会の活動報告が共有され、インドネシアでの岐阜大学の広報や今後の交流内容について活発な意見交換が行われました。活動報告の一部はグローカル推進機構のホームページ上でも公開しています。

今後も、大学の国際化や地域の活性化に向けた海外同窓会との交流を深めていきます。

なお、中国、インドネシア以外で同窓会が設置されている場合は、岐阜大学グローカル推進機構国際総務室 (kokusaik@gifu-u.ac.jp) までお知らせ願います。

